Press Release

2024.1.25

特別上映プロジェクト「機械化する種 ep.01」

小宮りさ麻吏奈

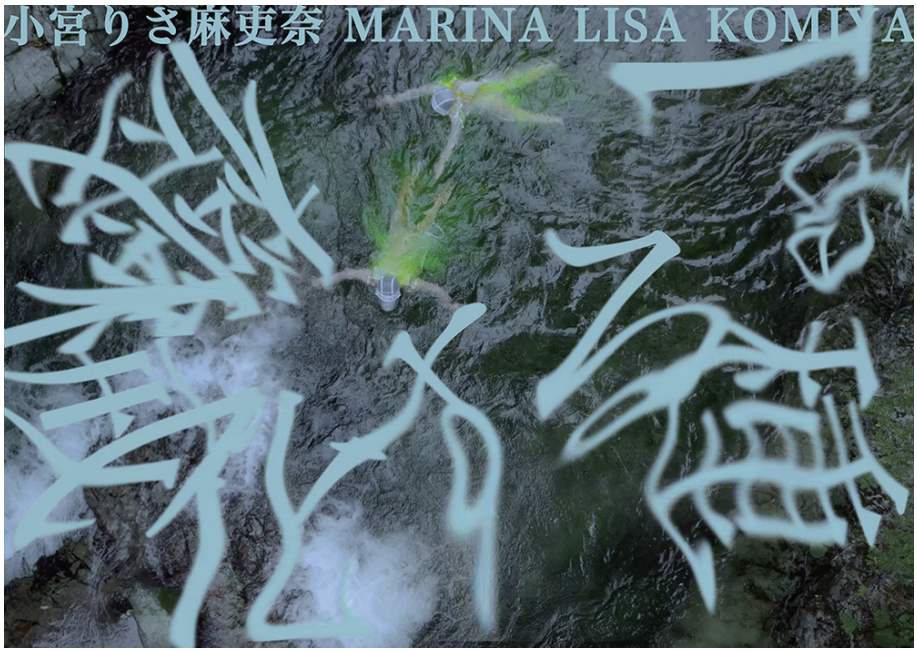
2024 年 2 月 17 日 (土) - 2 月 25 日 (日) 11:00-19:00 月火祝 休廊

-

タリオンギャラリーでは、小宮りさ麻吏奈による特別上映プロジェクト「機械化する種 ep.01」を開催いたします。是非ともご覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

再建築不可の土地に庭をつくるプロジェクト「繁殖する庭」や、オルタナティブスペース「野方の空白」(2016-2018)、「小宮花店」(2016-2017) の運営などの活動でも知られる小宮りさ麻吏奈は、パフォーマンス、映像、インスタレーションなど複数のメディアを横断しながら「人類における新しい生殖の可能性」について自身の身体を起点に模索しています。

本プロジェクトでは、7 日間限りの特別上映として、新作映像とドローンを用いたインスタレーションが発表されます。マーガレット・アトウッドによる SF 小説「侍女の物語」を手掛かりに 制作された本作は、商業的な代理出産や戦場で用いられるドローン技術をテーマに、機能が身体から分離する世界において機械化する身体と性がどのような未来へと接続するか、監視や生殖にまつわる権力を主題に据えながら問いを投げかけるものです。どうぞご期待ください。



小宮りさ麻吏奈 I 機械化する種 ep.1 I 2024 I 映像

Project Statement

「これは脚色した物語だ。ひとつ残らず過去を脚色したものだ。」
(マーガレット・アトウッド著・斎藤英治訳『侍女の物語』早川書房より)

1985年に出版されたマーガレット・アトウッドによるSF小説「侍女の物語」では、汚染や原発事故、遺伝子操作などの影響で出生率が低下した世界で、妊娠することができない支配者層の女性に代わり、「侍女」として妊娠可能な女性が子供を産むために使役される物語が描かれている。この物語は半世紀も前に執筆されたにもかかわらず、近年ドラマ化もされ、今もなおリアリティを持って注目を集めている。

ウイルスの蔓延により、接触することが不浄だとされ、接触が監視される世界を経験し、われわれは遠距離で人と接触することへの違和感を感じなくなった。人は視線を画面の先にある遠隔の場所に集中することに慣れ、そこにリアリティを見出すテクニックを編み出し、ますます視線と移動を電気信号へ委託するようになった。

機能と身体が分離しうる世界では、生殖機能と身体もまた分離しうる。
それはつまり、人は産む機械になりえ、同時に、孕ませる機械にもなりえるということ。

セレブリティたちも利用を表明し、商業的な代理出産が世界的なブームになっている現在。今後10年で規模が10倍にも伸びることが予想されるという。現在、代理母による出産が合法化されているのは、アメリカの一部の州、そしてロシア、ジョージア、ウクライナなど旧共産圏の一部の国のみである。ウクライナはロシアの侵攻を受ける前まで、アメリカに次いで世界で2番目に大きい代理出産市場だったという。代理母出産を依頼する理由はさまざまであり、身体的に出産が不可能な人々にとっては希望でありつつ、場合によっては、多忙で資本のある富裕層が、自分の身体への物理的な、または社会的な脅威のリスクを回避しながら子供を得るために利用するケースもあるという。つまり、社会的な強者が、リスクを他者に委託するテクノロジーともなりえるということだ。

強者が自身の体をリスクなく安全に、行為を遂行するためのテクノロジーといえば、ドローンはどうだろうか。ドローンは無機物なのでリスクを他者に委ねるわけではないが、委託された身体の最前線、物理的な脅威をもたらすことなく行為を遂行するためのテクノロジーとして真っ先に思いつく。その最先端はやはり、強者によるリスクなき戦争の立役者である兵器としてのドローン技術ではないか。

数年前、兵器ドローンを操縦する兵士が、その体が存在するオフィスと仕事が終わったら戻る日常を過ごす家と、視界に広がる戦場とのギャップに耐えられずに相次いで精神に不調を来していると言うニュースを見た。しかし、調べていくと実際にはPTSDに陥る兵士はそう多くなく、多くが問題なく”業務”を遂行していることが分かった。きっとドローンによる戦争がより一般化された現在では、さらに多くの兵士が違和感を覚えることなく操縦をしているのではないかと思う。

身体と精神の連続性感覚が失われた、機械化された身体を持つ人々による未来の戦争では、いったいどんなことが起こりうるだろう。

そう考えたとき、真っ先に思い浮かんだのがドローンによるレイプだった。戦争が始まるといつだって、「女性の体」(に見えるもの)は奪取され、植民地化され、未来の兵士をつくるための道具となってきた。リスクなく孕ませる機械としてのドローンが、遺伝子操作された精子を遠隔で散布する世界。そんなディストピアの未来を想像するだけでも恐ろしいが、すでに本当に起こり始めているような気がしてならないのだ。

日々進化する戦時技術や生殖関連技術が人類にどのような未来をもたらすのか、ディストピア的な未来が起こりうるかと言う問いを、監視や生殖の権力を通しより一層機械化する身体と性についての思索を交え、提起をすることが今回の試みである。

小宮りさ麻吏奈　Marina Lisa Komiya

主なプロジェクト

2021　「FAQ?」
2020　NRR vol.1「ノアの方舟」(n-r-r.com)
2018-　「繁殖する庭」　運営
2016-2018　「野方の空白」　運営
2016-2017　「小宮花店」　経営

主な個展

2021　「繁殖する庭」繁殖する庭プロジェクト名義 TOH（東京）
「オペ ration;Ope レーション」縺薙∩山繧翫↑名義
IN SITU（愛知）
2018　「-ATCG」TAV GALLERY（東京）
「野方の空白」引越しのお知らせと地鎮祭の記録
野方の空白（東京）
2017　「小宮花店」閉店セール 小宮花店（東京）
2016　「窓」カタール Safia Doha Hotel 311（カタール）

主なグループ展

2023　「家・家族・故郷の生態系とお土産のポータル」
プライベイト（東京）
「血は水よりも濃い、何も分かってないのかもしれないから、庭の隅の手作りの洞窟で、くらくけずられた豆腐歯はこなごなにしたたり冷蔵飛び石の形に集まってななめに流れ出すまで」TALION GALLERY（東京）
2022　「とうとうたらりたらりらたらりあがりららりとう」新宿歌舞伎町能舞台（東京）
「WHITE HOTEL」WHITE HOUSE（東京）
「沿海マッピング」Under Construction Center presents（福岡）
2021　「惑星つきのコミュウ」TALION GALLERY（東京）
「ヌケガラ (OFF) とマトイ (ON)〈正体を隠すこと (ON) とそれを脱ぎ捨てること (OFF) の、あいだにあるものを教えなさい〉」
TALION GALLERY（東京）
「AIR2 SCG」BnA Alter Museum（京都）
「Try the Video-Drawing」TAV GALLERY（東京）
2020　「光光 DEPO」カタルシスの岸辺名義 EUKARYOTE（東京）
「荒れ地のアレロパシー –5 人のキュレーターによる現代美術展覧会ー」MITSUKOSHI CONTEMPORARY GALLERY（東京）
2019　「瀬戸内国際芸術祭 2019　KOURYOU 作品『家船』」（香川）
「コ本や Selection Vol.01」コ本や（東京）
2018　「始末をかく」BUoY（東京）
2017　「恋せよ乙女！梅津庸一とパープルーム大学」ワタリウム美術館（東京）
2016　「ゲルゲル祭」パープルームプーポンポン（神奈川）

主なイベント・パフォーマンス

2023　「映画『繁殖する庭』パンフレット完成上映会」PARA（東京）
2022　「スティルライブ / Stilllive」ゲーテ・インスティトゥート（東京）
2021　「上演とトーク『創作能・浦島太郎』」美学校（東京）

「This is not self-replication」
新宿歌舞伎町能舞台（東京）での展示風景 I 2022

オーラル・スクリーニング | 2021
オナホール、モニター、カメラ、マスク
12×7×19cm I 撮影 : 酒井透

Tatoo(bruise) I 2021 I キャンバス、
アクリル、医療用糸、医療用針
30×17cm

「蓬莱島古墳」
REBORN ART FESTIVAL 2019 での展示風景 I 2019

—

本企画に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、ご質問などございましたら、下記お問い合せ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[企画概要]

タイトル	機械化する種 ep.01
アーティスト	小宮りさ麻吏奈
会期	2024年2月17日(土) - 2月25日(日) 11:00-19:00 定休日：月・火・祝日
会場	TALION GALLERY 東京都豊島区目白2-2-1 B1
助成	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 ［スタートアップ助成］

ARTS COUNCIL TOKYO

[お問い合せ]

TALION GALLERY 広報担当
Email: info@taliongallery.com Tel/Fax: 03-5927-9858
171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: www.taliongallery.com

—

車椅子でお越しの方や急な階段が苦手な方は、エレベーターをご利用いただけます。
建物の都合上ご案内が必要なため、恐れ入りますがご利用の際はギャラリーまでお電話ください。(03-5927-9858)